

春採りの新鮮な種子の配布希望者を募集いたします。

(第11回 春の種子交換会)

東京山草会 種子交換委員会
西田和憲

- ・今春採種した種子を提供してくださった方のおかげで、この募集を行うことができました。
- ・提供者の方々に感謝いたします。
- ・この募集は、今回の春の交換会に種子を提供された方に加えて、東京山草会会員全員と、その他のかたで、41回種子交換会(それ以降も含む)に種子を提供された方、配布希望された方が対象です。
- ・配布を希望される方は、以前お送りした申込書(フォーマットはホームページにアップされていますので、紛失された方はそちらをご利用ください)に、同封の種子リストの種子番号と、その他の必要事項を、記入して、7月1日まで(必着)に申し込んでください。無料です。
- ・種子を提供していない方も参加することが出来ますが、配布は種子提供者が優先されます。配布できないことも予想されるので、参加費は必要ありません。
- ・「種の保存法」に基づいて、特定国内希少種でタネの採取規制のある、ヤクシマリンドウ、キリギシソウ、ムラサキカラマツについては、東京山草会、種子交換委員会が特定国内種事業者の登録を受けていますので、提供があればリストに記載し、何らかの種子を提供した方にだけ配布します。
- ・また、テンナンショウ類の次の9種について、登録したので球根も取り扱えるようになりました。
オキナワテンナンショウ、オドリコテンナンショウ、ホロテンナンショウ、イナヒロハテンナンショウ、イシヅチテンナンショウ、アマギテンナンショウ、ナギヒロハテンナンショウ、オガタテンナンショウ、セツピコテンナンショウ
ただし、これらの球根は、基本的には、法律規制前に入手した品か、登録業者からの購入品からの増殖させた球根とお考えください。
- 優先(配布)メンバーとは
 - ①11回春の交換会に種子を提供された方
 - ②41回種子交換会(それ以降も含む)に種子を提供された方
→それ以外の方(一般メンバー)には優先配布はありません。
- 種子の申込み方法、配布方法、日程
 - ・基本的に秋冬の交換会と同様な方法で申込みを行っていただけます。
 - ・申込みに際して、従来の代替品の取り扱いは行いません。但し、申込み枠をふやし、優先メンバーは14種類に、一般メンバーは7種類にしました。今回の交換会では、提供種子が少ないので、優先順位の低い方は、入手できる種子が少なくなることをあらかじめお含みおきください。
 - ・配布順は、提供頂いた種子の種類、量等の実績を中心に決めたいと考えています。
 - ・申込み締め切り日は、7月1日必着でお願いします。
 - ・交換会は例年の通り、7月2日に行う予定です。
 - ・申込先は：223-0053 横浜市港北区綱島西6-7-16-401 西田 和憲
- ・本種子リストの種子番号は、種ごとの固定番号です。番号順に申込書に記載して下さい
- ・種子リストの形式は、印刷物のリストについては、大幅に簡略化しており、字も小さくなっています。
- ・ホームページにアップされている種子リストは従来のタイプのリストに加えて、一部写真入りとなって

います。(検索:東京山草会種子交換)

- ・人気種は提供が少ないにもかかわらず、申込みが多いのが現状です。
- ・少量とか極少量と特記されている種類は、提供された種子量が少ないか、きわめて少ない種類です。

● 播種にあたって

- ・保湿管理の特に必要な種子は、密封チャックのついたビニール袋を外袋として、その内に不織布の袋の中にいれ、周り(種子と混ぜるか、または混ぜないで別々に)を黒いモフミン顆粒、パーライト粒、ミズゴケ、スポンジなどを入れて、保湿した状態にしてあります。
- ・パーライト粒、モフミン顆粒は播種床に種子と一緒に播いてもかまいません。

- ・種子が乾燥すると、影響が無視できないと考えられる種類(スミレ類等)は、密封チャックのついたビニール袋に入れられています。

(提供の方法によって、従来どおりの分包を行っているものもあります。)

- ・ピンセットなど適当な道具をお使いになって、不織布の袋を取り出して下さい。
- ・小さな濡れた種子は取り扱いが難しいですが、洗浄瓶(ホームセンターなどで売られているポリ製の瓶で、瓶を握ると、瓶上部の鳥の口のような細くなったノズル口から瓶の内部に入れた水を押し出すことができる)とか、大きなスポイトで水を出すことで、不織布についた種子を播種床に流すことができます。しかし、もっとよい方法を見つけた場合には、連絡をお願いいたします。
- ・播種した種子は発芽まで、播種床を乾かさないように管理してください。

- ・乾燥した球根については、直ぐに植えつけ、灌水すると球根が腐敗するのがあります。(テコフィラエア類やナルキスス類) これらはそれぞれ適切な時期に灌水をスタートするようにお願いします。寒くなってから播種した方がいい種類も有りますので、ご注意ください。播種方法等について、ご質問があれば、下記まで、郵便やメールにてお願いいたします。

- ・冬成長の球根類(ケープバルブなど)の種子の播種時期は、秋以降となります。早いのは9月下旬です。テコフィラエア キアノクロックスは11月下旬に播いた方が良いと思います。

ご連絡やご質問は、

- ・西田和憲まで、郵便かメールにてお願いいたします。

西田 和憲 223-0053 横浜市港北区綱島西6-7-16-401

メール: kaz-tokyoseed@f03.itscom.net

=====